

第10回日本ブラインドサッカー選手権大会 B1大会申し合わせ事項 決定版

- 1 ここに定める事項以外は、IBSA (International Blind Sports Federation) のフットボールB1カテゴリーのルール(以下、IBSAルール)に準じて行う。
- 2 出場するチーム数によりグループ数を決め、予選リーグ、順位決定戦を行う。
試合の組み合わせは、実行委員会事務局による事前の代理抽選で決定する。
- 3 リーグ戦の勝ち点は勝ちに3点、引き分けに1点を当該チームに与える。
- 4 予選リーグ戦では、勝ち点の多い順番に順位を決める。勝ち点と同じ場合、得失点差、総得点、該当チーム同士の勝敗により順位を決める。それでも順位が決定しない場合は、PK戦(各チーム3人、決まらない場合はサドンデス)を行い、順位を決定する。サドンデスを行う選手数は最大8名で、その人数は少ない方のチームに合わせて行う。
- 5 予選リーグの結果により決勝トーナメント、順位決定戦に進む。
予選リーグA、B各グループの上位2チームが決勝トーナメントへ進出し、3位チーム同士が4位決定戦、4位チーム同士が7位決定戦を行う。
- 6 試合時間及び勝敗の決定について
 - ※ 試合時間はいずれの試合もランニングタイムを基本とするが、前後半とも残り1分(決勝戦は2分)をプレイングタイムとする。
プレイングタイムでは次の場合に時計を止めることとする。
タイムアウト、メンバーチェンジ、ゴールクリアランス(スロー)、コーナーキック、キックイン、フリーキック、ペナルティキック、第2ペナルティキック、ゴール
 - ※ レフェリーによる停止は随時行う。
 - ※ 以下の試合時間は予定であり、変更の可能性もある。

予選リーグ	: 15分ハーフ(ハーフタイム5分)	PK戦なし
準決勝までの諸試合	: 15分ハーフ(ハーフタイム5分)	PK戦
3位決定戦	: 20分ハーフ(ハーフタイム10分)	PK戦
決勝戦	: 25分ハーフ(ハーフタイム10分)	PK戦
 - ※ なお各PK戦は3人で行い、勝敗が決定しない場合はサドンデス(最大8名、少ないチームに合わせて)において決定する。
- 7 試合開始は原則として予定時刻で行う。開始時刻10分前までに試合を行うコートオフィシャル席にメンバー表を提出する。
- 8 次に試合を控えているチームは、開始10分前には各コートオフィシャル席裏に集合し、チェックを受ける。
- 9 試合前の練習は、定められた会場において行う。
- 10 審判団は、主審、副審、第3審、タイムキーパー、スコアラー、アナウンスの6名で構成する。
- 11 審判団は、JBFAからの依頼を受けた審判及び大会ボランティアで分担して担当する。
- 12 試合開始前に、各チーム代表(キャプテン以外でも可)参加の下、主審のコイントスでエンド、キックオフを決定する。コイントス実施時刻は別途連絡する。

- 13 キャプテンマークは腕章とし、各チームで用意する。
- 14 各チームの監督とコーラーは、試合中、自チームで用意したビブスを着用する。
- 15 試合において退場を命ぜられた者は、次の1試合に出場できない。また、違反の内容によっては本大会実行委員会（もしくはJ B F A）で協議し、それ以降の処置を決定するものとする。
- 16 予選リーグ、順位決定戦を通じて警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。（予選リーグの警告は以後の順位決定戦に持ち越す）
- 17 本大会に出場（ベンチ入り）できるのは大会への登録者のみとする。
登録は各チーム20名以内。監督、コーラーは指定しておくが変更は可とする。
第2次エントリー後の追加登録は認めない。

【補足、確認】

○競技者の用具について（競技規則第4条）

- ・出場選手のユニフォーム（上下、ストッキング）は各チーム統一することを原則とし、統一されていない場合は出場できない場合がある。
どうしても困難な場合、大会一週間前までに実行委員会に申し出るものとする。
- ・ユニフォームの下に着用し露出するシャツやスパッツ等は、ユニフォームの主な色と同色とする。
- ・すべての選手のユニフォーム（シャツ）には登録した背番号をつけておくこと。ゴールキーパーも同様である。
- ・シューズは他の選手を傷つけないことのものであること。そのために着用するシューズはキャンバスまたはやわらかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の材質のトレーニングシューズまたは体育館用シューズのタイプのみ許可する。（スパイクは認めない。）

○競技者の数について（競技規則第3条）

- ・試合開始時に両チームとも5人の競技者（キーパー1人、フィールドプレーヤー4人）がいなければいけない。
- ・選手が既定の人数にそろわない場合、大会実行委員と相談の上、他のチームからの派遣を認めるものとする。
- ・試合中、退場や怪我によって、いずれかのチームの競技者の数が3人未満（ゴールキーパーを含む）になった場合、該当チームは試合を放棄しなければならない。
※原則として2-0のスコアとするが、既に獲得された得失点差の方が大きい場合は、それを有効とする。また、個人記録は基本的に無効となる。
※他の理由による場合もこれに準ずる。

○その他

- ・試合中のドロップボールは、停止直前の状況に応じたフェアプレーを望む。
- ・やむをえない場合を除き、参加チームは開会式及び閉会式は必ず参加することとする。
参加できない場合は理由を連絡すること